

# 2012ライフサイエンス知財フォーラム開催案内

## 明日の創薬につながる産学官連携

### ～見えてきた課題：死の谷を乗り越えるために～

2012年2月10日(金)午後1時から東京・大手町 経団連会館 国際会議場にて一般財団法人バイオインダストリー協会との共催による「2012ライフサイエンス知財フォーラム」を開催します。

2010年6月に閣議決定した新成長戦略では、「ライフイノベーション」が重要な柱の一つに掲げられました。世界第3位の新薬創出力を持つわが国の製薬産業は、これからの日本経済の牽引役として、大きな期待が寄せられています。

一方で、製薬業界は、大型主力製品の特許切れ問題、自社創薬の困難化に直面し、ビジネスモデルの変革が求められています。米国の製薬大手では革新的新薬の半分以上がアカデミア、バイオベンチャー起源となり、自前主義からアカデミア、バイオベンチャーとのオープンイノベーション戦略にシフトしています。わが国でも産学官連携の重要性は認識されていますが、アカデミアの研究成果と医薬・医療技術の実用化の間に存在する「死の谷」が大きな課題となり、日本発の革新的新薬の効率的な創出につながりにくくなっています。

2011年度のライフサイエンス知財フォーラムでは、産学官の代表の方々にそれぞれの立場で、産学官連携の現状、および、日本発の創薬イノベーション活性化のために取り組むべき課題について議論していただきます。

**プログラム(敬称略)**      フォーラム：午後1時～午後5時25分(参加費無料)  
懇親会：午後5時30分～(参加費5,000円)  
\*講演者、パネリスト、内容等は変更になる場合があります。

#### 第Ⅰ部 基調講演

##### 【医療イノベーション推進に向けて】

中村 祐輔 東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター ゲノムシーケンス解析分野 教授  
(併任) 内閣官房医療イノベーション推進室長

##### 【産業革新機構によるライフサイエンス分野のオープンイノベーションへの取り組みについて】

佐藤 太郎 株式会社産業革新機構 マネージングディレクター

#### 第Ⅱ部 プレゼンテーション

##### 【「死の谷」を乗り越えるための産学官連携施策】

池田 貴城 文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域支援課長

##### 【“真の産学官連携”に求められる仕組み～医学系大学産学連携ネットワーク協議会(medU-net)からのご提案】

森田 育男 東京医科歯科大学理事・副学長  
(併任) medU-net会長

##### 【失明撲滅に挑戦した20年 日本発米国へ】

窪田 良 Acucela Inc. 代表取締役会長・社長兼CEO

##### 【創薬スタートアップの現状と課題】

松田 一敬 合同会社 SARR 代表執行社員

##### 【アステラス製薬におけるオープンイノベーションへの取り組み】

竹内 誠 アステラス製薬株式会社 執行役員 研究本部 研究推進部長

#### 第Ⅲ部 パネルディスカッション

##### 【日本発の創薬イノベーションには何が必要か】

〈コーディネーター〉 佐藤 一雄(製薬協知財委員会委員長/第一三共(株)知的財産部長)

〈パネリスト〉 中村 祐輔/佐藤 太郎/森田 育男/窪田 良/松田 一敬/竹内 誠 他

#### 懇親会(経団連会館 経団連ホール北)

お問合せ先：2012 ライフサイエンス知財フォーラム準備委員会事務局  
日本製薬工業協会 知的財産委員会 担当：古明地/稲場  
Tel：03-3241-0326 Fax：03-3242-1767 E-mail：ip-forum2012@jpma.or.jp

※11月下旬より製薬協ウェブサイトにてお申込み受付を行います。